

令和 3 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	中学 8	学校名	県立下館第一高等学校附属中学校				課程	—		学校長名	赤田部 清浩					
教頭名	谷島 敏浩								事務(室)長名	飯村 好明						
教職員数	教諭	12	養護教諭		常勤講師		非常勤講師	1	実習教諭、実習講師、実習助手		事務職員		技術職員等		計	16
生徒数	1年		2年		3年		合計		合計		合計		合計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
	20	20	20	20			40	40						2		

2 目指す学校像

【目指す学校像】

自主自立の精神を有し、地域のリーダーや国際社会で活躍する人財を育成する学校

【育てたい生徒像】

様々な変化に積極的に向き合い、多様な人々と協働して課題を解決する力や、新たな価値を創造する力を持つリーダー

- 答えなき課題にも論理的な思考で探究を重ね、主体的にチャレンジする生徒
- 豊かな表現力・コミュニケーション力を身に付け、他者と協働しながら課題を解決できる生徒
- 未来のリーダーとして活躍できる、知・徳・体のバランスのとれた生徒

3 現状分析と課題

項目	現状分析	課題
学習指導	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践を心掛けた。その中で、ICT機器を積極的に授業で活用することができた。生徒の学習意欲、教師のICT機器の活用技術の向上が見られている。	問いに対してじっくりと考え、情報等を整理・分析したり、論理的にまとめ表現したりすることに課題がある。また、中学校と高校、教科間の連携をより密にし、教育課程の特例を十分に生かしていく必要がある。

別紙様式 1 (中)

生徒指導	ほとんどの生徒が、学習に対して前向きに努力し、基本的な生活習慣をきちんと身に付け落ち着いて生活している。人間関係や学習のつまずきに対して悩む生徒がおり、個別の教育相談や家庭との連携、補習授業等に対応してきた。	より正確な生徒理解に努める。特別活動や授業の中で、協働や助け合い、合意形成や意思決定等の場を意図的に設定するなど、よりよい人間関係の構築のための取組を活性化させたい。
キャリア教育	職場体験等の校外における体験活動の実施が難しい状況の中で、社会で活躍する方々の講話や交流の場の設定を工夫するなど、キャリア教育に関する実践的・体験的な活動を大切にしたい授業を実践できた。将来の夢や希望について、考えを深めることができた生徒が増えた。	小学校、中学校、高等学校をつなぐ組織的・体系的なキャリア教育を充実させ、更に自分の将来に対する意欲をもたせていく必要がある。キャリア・パスポートの作成、活用を更に推進していきたい。
特別活動	ホームルーム活動や委員会活動、部活動に積極的に取り組む生徒が多い。様々な集団活動を通して、自己や学校生活を捉え、課題を見だし、その改善・解消に向けて、よりよい集団や学校生活を目指してきた。	全員で協力して実践する活動等を工夫して、自発的、自治的な活動の学習過程を充実させたい。また、部活動の運営方法について、検討していく必要がある。
働き方改革	質の高い効率的な組織運営の実現を目指して、適切な役割分担と連携のある組織づくりを推進した。報告・連絡・相談と指導・助言・調整が機能的に働くよう ICT 機器等の積極的な活用に取り組んでいる。	各校務部及び学年、部活動において、業務の見直しを積極的に推進し、働き方改革につなげていく。また、職員の勤務時間を管理し、時間を意識した働き方を推進していきたい。

4 中期的目標

<p>1 ICT機器を効果的に活用し、問題解決的な学習や協働的学習スタイルを積極的に取り入れた授業を推進して、生徒一人一人の学習の個別最適化、協働的・探究的な学びの充実を図る。</p> <p>※ 輝け！私たちの未来「探究プロジェクト」（附属中学校 5 校の連携）、総合的な学習の時間（地域探究セミナー）の活用</p> <p>2 正確な生徒理解に努め、正しい判断で行動し、日常生活の諸問題を自らが解決できる生徒を育成する。</p> <p>※ 数値目標：欠席者 0 の日 80 日以上、学校が楽しい《生徒アンケート》85%以上</p>

別紙様式 1 (中)

<p>3 多様な意見を認め、折り合いを付けて決定し、他者と協力しながら実践できる生徒を育成する。 ※ 数値目標：協力して行動することができる。《生徒アンケート》80%以上</p> <p>4 中高一貫教育校として6カ年教育の経営に全力を注ぎ、新たな魅力ある学校づくりを推進する。 ※ 数値目標：中学志願倍率 2.5 倍</p> <p>5 慣例にとらわれず業務内容の精選、見直しを行い、ICTの活用による業務の効率化を推進して、働き方改革につなげる。 ※ 数値目標：全職員が時間外勤務月 45 時間以下</p>

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
協働的・探究的な学びの充実	<p>①問題解決的な学習や協働的学習スタイルを積極的に授業に取り入れる。</p> <p>②ICT環境の効果的な活用による学習の個別最適化を推進する。</p> <p>③中学校と高校、教科間の連携をより密にし、教育課程の特例を十分に生かした学習指導を行っていく。</p> <p>④探究プロジェクトや総合的な学習の時間での活動を通して、科学的に探究するための手法について習得させる。</p> <p>⑤積極的な模擬授業の実践及び相互授業参観を推進するなど、校内研修を充実させる。</p> <p>⑥少人数授業の充実を図る。</p>
正しく判断し、行動する生徒の育成	<p>⑦複数担任制を生かして、より正確な生徒理解に努める。</p> <p>⑧受容的な雰囲気の中で行われる「考え、議論する」道徳科の授業を通して、道徳的価値の理解と実践力を育成する。</p> <p>⑨定期的な教育相談やアンケートの実施により、個に応じた指導を効果的に行う。</p> <p>⑩生徒会活動を活性化させる。</p> <p>⑪職員間の共通理解を図り、同一内容での指導を徹底する。</p>

別紙様式 1 (中)

<p>特別活動の充実</p>	<p>⑫合意を形成し、実践する活動の充実を図る。 ⑬多様な意見を認め合い、折り合いを付け意見をまとめる話し合い活動を充実させる。 ⑭必要な組織をつくったり、自他のよさを生かした役割を分担したりする活動を工夫する。 ⑮キャリア・パスポートの作成、活用を更に推進し、積み重ね、振り返りを充実させる。 ⑯生徒会活動における自治的活動を推進する。</p>
<p>広報活動の推進と地域との連携</p>	<p>⑰ホームページを充実させるとともに、学校案内等を刷新し積極的な情報発信を行い、「社会に開かれた学校づくり」に努める。 ⑱生徒の参画を企図し、小学校との連携や小学校訪問、学校説明会や学校公開の充実を図る。 ⑲総合的な学習の時間を活用して、筑西市や地元企業との連携を推進する。 ⑳学校評議員会、PTA、同窓会等との連携を強化し、情報の公開に努める。 ㉑高校と有機的に連携し、魅力ある学校づくりに全職員一丸となって取り組む。</p>
<p>働き方改革の推進</p>	<p>㉒業務の見直しを進め、削減できる事業を各校務部及び学年で協議し、学校全体として1つ以上の事業を削減する。 ㉓在校時間を管理し、時間を意識した働き方についての改善・改革を推進する。 ㉔適切な役割分担と連携を目指して、責任と権限の明確化を図る。 ㉕ICT機器を効果的に活用した情報伝達・共有を推進していく。</p>